



広報

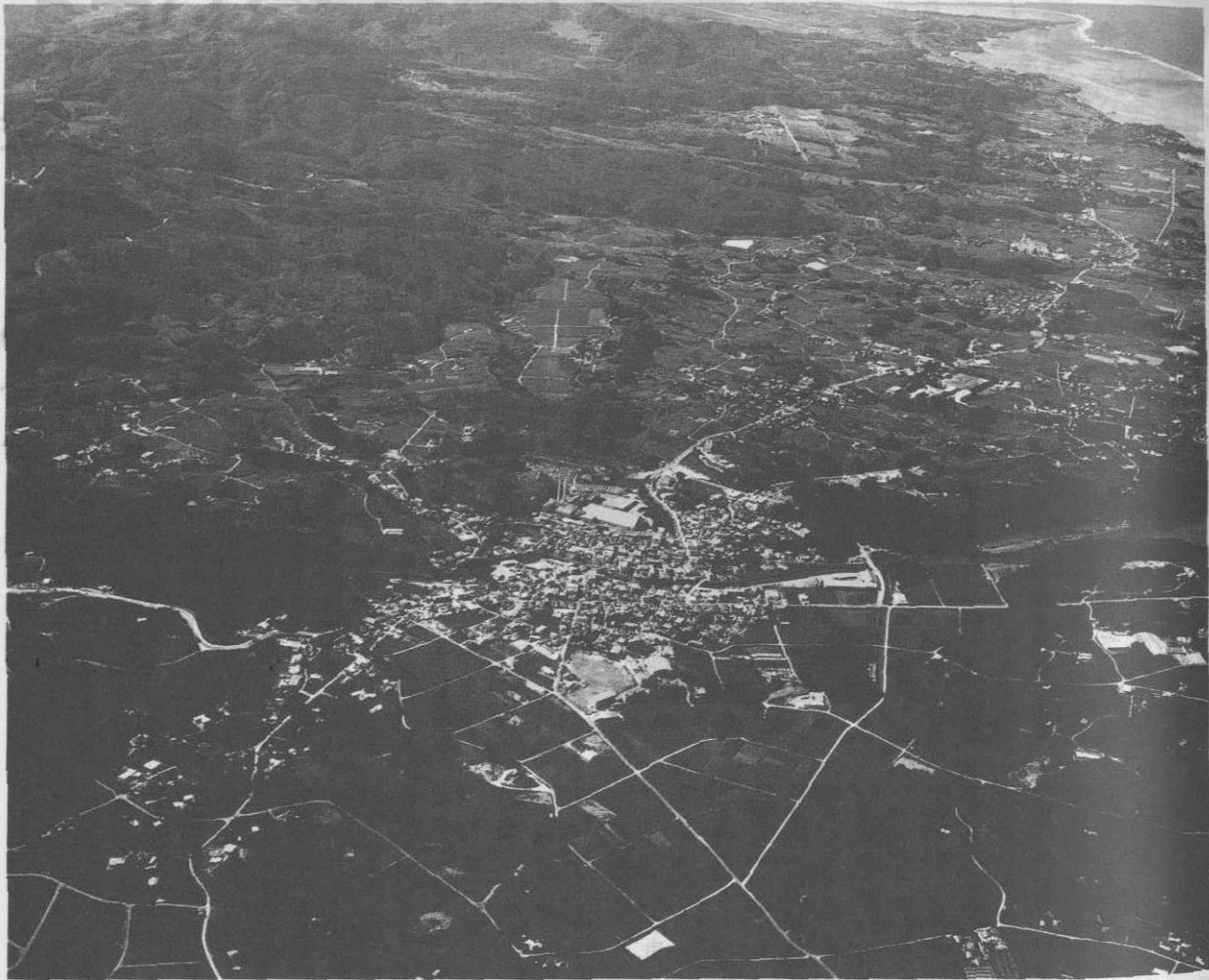
# なぎじん

No.86

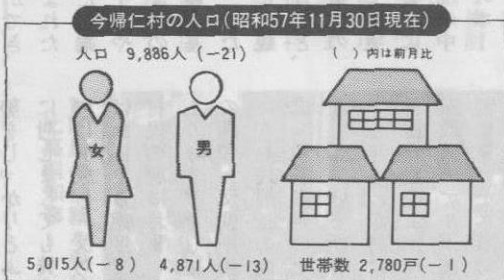
1983年1月

村章

(毎月1日発行)



▲空からあけましておめでとう  
(仲宗根を中心にした村の様子)



編集発行：今帰仁村役場総務課秘書広報係  
〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話098056-2101  
印刷：沖縄高速印刷株式会社  
南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

今月の主な内容

あけましておめでとうございませ  
うしい年 村民の一層のご理解を  
村長 松田幸福

二 二頭の和牛が高専登録  
村ではじめて

三 昭和五十六年度決算状況  
一般会計・国保特別会計・  
水道特別会計

四 実践される生活の工夫と簡素化  
村普及事業実績発表会を開催  
村民コーナー私の一言  
国民年金について

五 字湧川三六九 嘉陽ルリ子  
今帰仁間切の内部構造(下)  
勤職書・辞令書にみる  
若き後継者たち⑦

六 大菊が中心  
湧川の沢紙安平さん  
老人保健法が施行  
今年二月一日より



# あけましておめでとうございます

## 今年の干支は猪

村民の皆様あけましておめでとうございます。一九八三年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

今年の干支は猪。猪突猛進で知られるように、がむしやらに突き進む男性的な干支でございます。私たちの村にとりまして、前進に前進を続ける豊かな実りある年であってほしいと願わずにはおられません。

さて、昨年は行財政改革と防衛論に明け暮れた一年でありました。特に防衛費が増大する一方で、福祉切り捨て政策がなされ、県、市町村には国の赤字解消のため、思いもしない様々な厳しい政策がとられてきました。さらに公共料金の値上げも重なり、国民にとっても苦しい生活を余儀なくされている現状です。

ふり返って、わが沖縄県ではどうでしょうか。復帰満十年の節目を迎え、復帰特別措置法の適用、第一次沖縄振興開発計画



▲村長 松田 幸福

## 厳しいこの一年！ 村民の「一層のご理解を」 村長 松田 幸福

により諸施策が講じられ、多くの基盤整備がなされてまいりました。特に、文教施設整備や産業基盤の整備、公共施設の整備があり、十年ひと昔の感さえないと思います。反面、依然続く失業率の増加、医療体制の遅れ、安売りの増加に伴う米軍基地の機能強化と拡充、慢性的な水問題、都市偏重政策による北部地域の振興開発の遅れと、まだまだ

だ解決を要する多くの難問が山積しています。

一方本村では、国・県の協力と指導を得ながら、学校施設の充実、乙羽山生活環境保全林整備事業、多くの生産の生活基盤整備事業が推進されてまいりました。さらにモデル事業や農林業構造改善事業、今帰仁城跡環境整備事業などの導入により、

かなりの成果を見ることができました。近年、沖縄の恵まれた自然エネルギーを活用した、端境期における本土向けスイカや花き園芸が盛んになり、従来の品目に加えてゆるぎない農業基盤を形成しつつあります。また文化や自然の特色を活かした観光の振興、文化財の保護育成と本村が「文化・自然・産業」のバランスのとれた村として着実に歩んでいることは誠に喜びにたえません。次に、昨年度中学校、北山高校、一般のスポーツ面での活躍は、村民にとつて大きな励みと自信になりました。これらのことは村民の努力と併せて、関係者の並々ならぬ熱意の賜ものと感謝申し上げます。

このような中で暮れには中曾根新内閣が誕生し、わが県では西銘知事が再選されました。国政並びに県政に私たちが望むことは多々あるわけですが、国民の基本的な人権の確立、福祉向上をめざし、公約を残らず果たしてもらおうことを強く要望するものであります。

国・県と市町村は、切っても切り離せない密接な関係にあります。そのため、それらの政策はストレートに市町村に影響を及ぼしてまいります。村としましては、村政のあるべき基本姿勢

勢をしっかりとふまえ、国や県に對しても賛成すべきものには賛成し、反対すべきものには断固たる態度で望むことを全村民の前に誓い、自然と文化の調和、反戦平和の確立を基調に、村民福祉の向上・人材の育成・産業振興のために全力を傾注してまいります。

今年もわが村においては、農村総合整備モデル事業、農業構造改善モデル事業、林業構造改善事業、土木事業などのハードウェアに加え、社会教育、老人対策、村づくりの気運醸成などソフト面でも多くの事業が行われます。また今帰仁城跡の環境整備事業も継続され、着々と歴史の解明がなされつつあります。村に生きた先人との対話は過去と現在の私たち、私たちが未来を結ぶ接点として誠に意義深いものがあり、その成果が期待されるところです。

これらの事業は、村民の協力なしでは到底実現できないものばかりであり、国・県の行革のしわ寄せが厳しいおり皆様の「一層のご理解をお願いする次第であります。

おわりに、村民各位のご健康ご多幸と限りないご繁栄を祈念申し上げます、私の年頭のあいさつといたします。

## 感激もあらたに 三十七年ぶりの卒業式 天底国民学校高等科



戦渦の中で実現できなかった天底国民学校高等科第五七期生の卒業式が、十一月二十七日午後三時から天底小学校（運天政宏校長）で行われた。同校では昭和二十年三月に一三四人が卒業生、来賓多数が参加し、当時の故上原校長にかわり運天校長から証書が手渡された。その後、校長の式辞、村長、教育長、在校生代表の祝辞がおくられた。これを受け卒業生を代表して謝花恒義さんは「あの頃のおもかげはただガジュマルに残るだけだが、やっと念願を果たし喜びにたえない」と答辞をのべていた。

## 比嘉副知事村を訪問 古宇利で区民と懇談

十二月十三日、県の比嘉副知事が古宇利島を訪れた。村からは助役を始め企画財政課長、建設課長が同行。副知事は、港湾・漁港・道路・学校・ほ場など、島を視察した後、古宇利区長、喜納議員ら字評議員との懇談会に参加した。

席上、字の抱えている問題点として

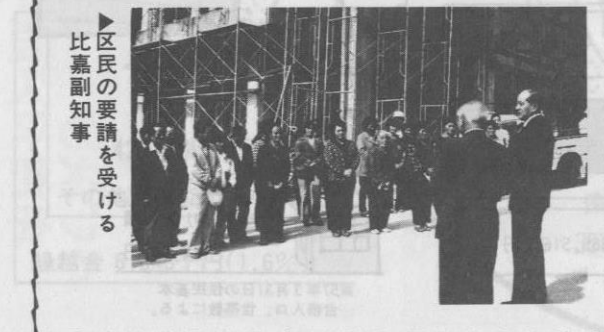
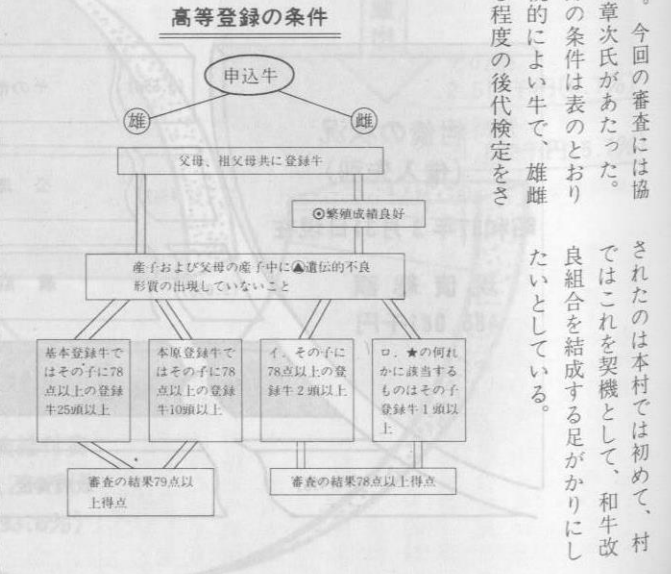
- ①古宇利大橋の早期建設
- ②港湾整備の促進
- ③漁港整備の促進
- ④渡船建造の早急な認可
- ⑤診療所への医師派遣
- ⑥ため池の修復
- ⑦農業基盤の整備

の七項目について要請がなされた。特に架橋については、これが実現すれば離島苦が解消されるということから、強い要望がなされた。

## 村で初めて 2頭の和牛が高等登録

十二月九日村家畜セリ市場において和牛の登録が行われ、金城寛一さん（仲宗根四〇二）のおんじ三号（四歳牛）と、湧川安弘さん（謝名一二四〇）のおる号（四歳牛）が高等登録された。

和牛登録は、品種の斉一性を高めその能力の改善を図ろうと全国和牛登録協会が認定するもので、基本登録、本原登録、高等登録、育種登録の四種類があり、登録の補助手段として子牛



▲区民の要請を受ける 比嘉副知事

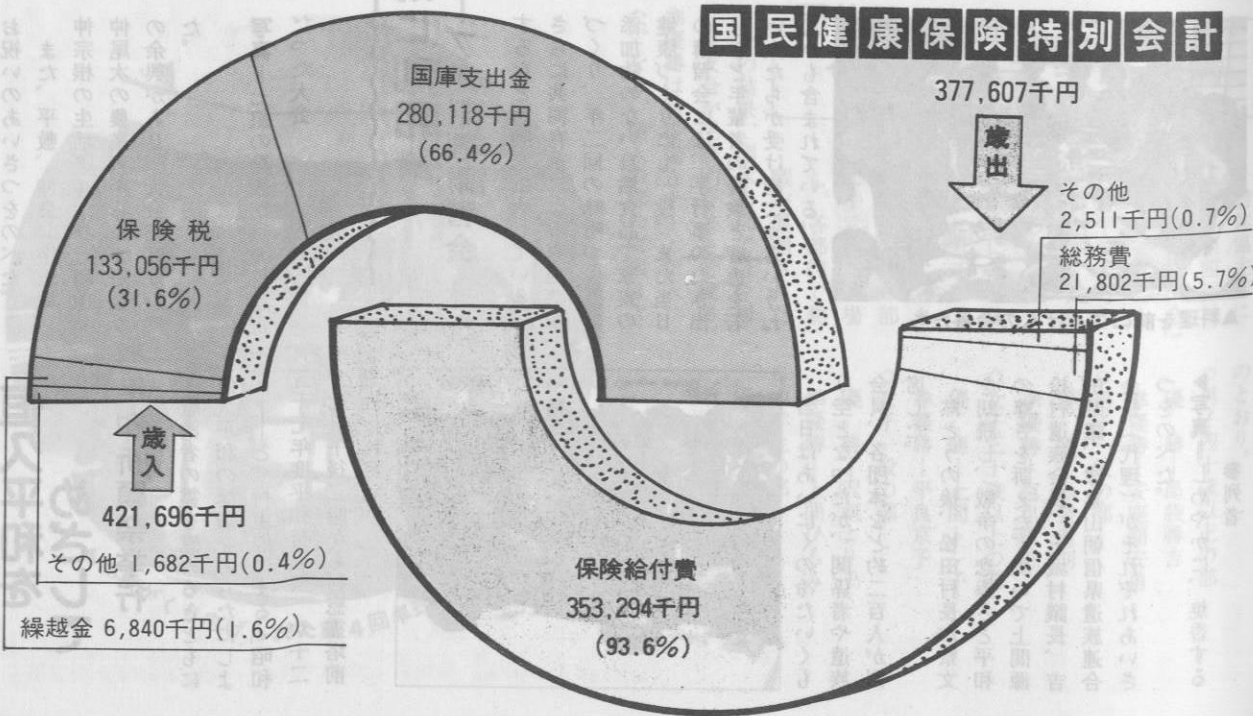
### 水道特別会計



### 村民の財産

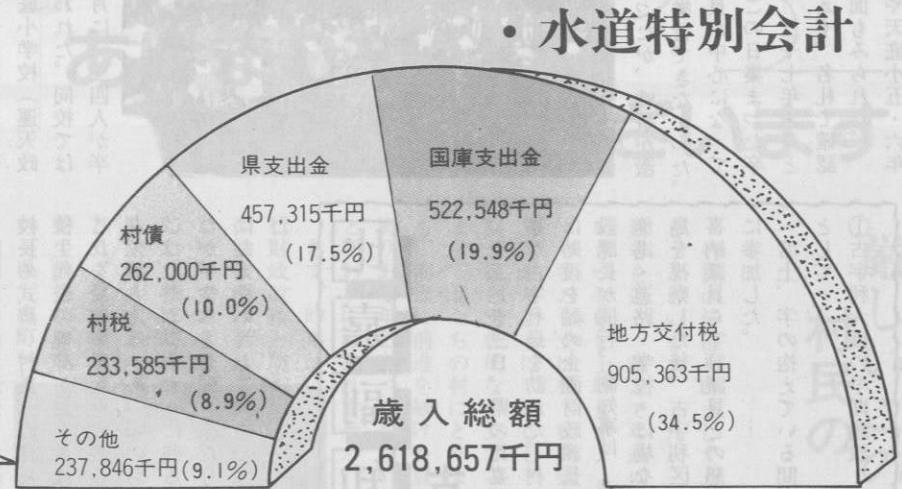
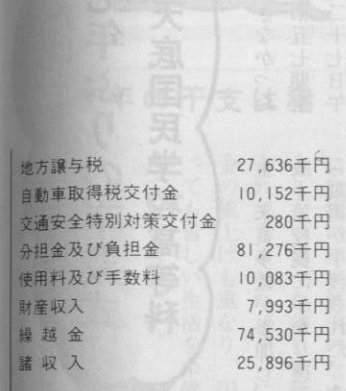


### 国民健康保険特別会計

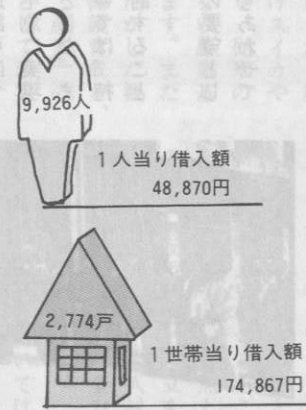
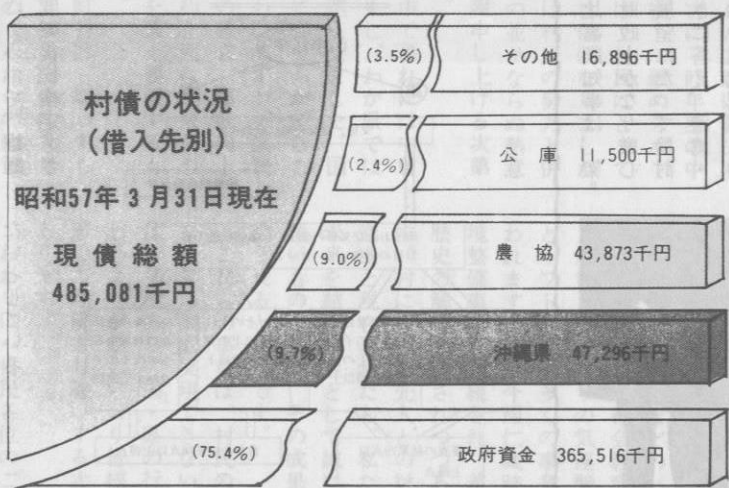
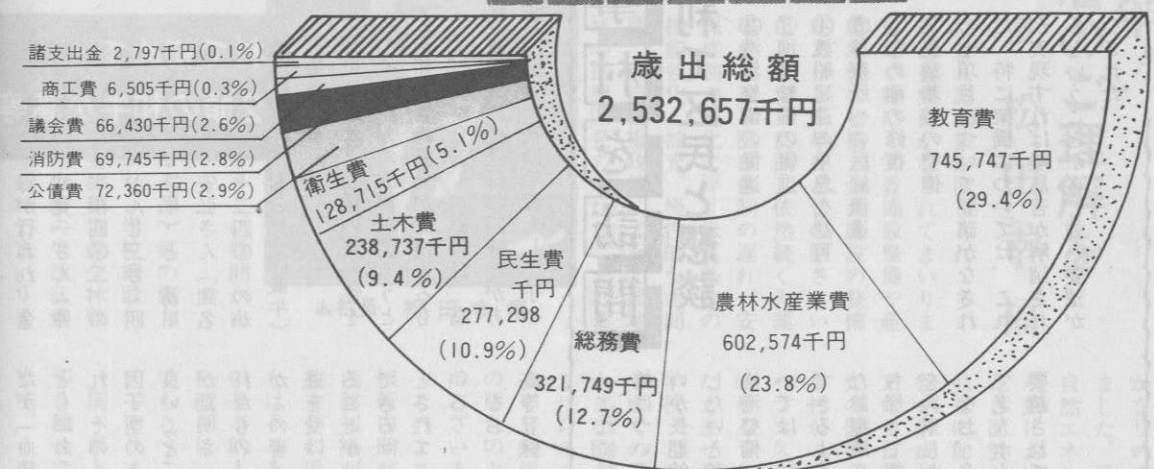


# 昭和56年度 決算状況のおしらせ

## 一般会計



## 一般会計



※57年3月31日の住民基本台帳人口、世帯数による。

# 実践される生活の工夫と簡素化

## 村普及事業実績発表会を開催

農業青年クラブや生活改善グループの技術交換を通して、地域の発展に役立てよう——と、村普及事業連絡協議会（内間敏会長）では、十二月七日午後二時から「普及事業実績発表会」を行った。



時から「普及事業実績発表会」を行った。大会には農業青年グループや生活改善グループなど百人が参加。開会の後、内間会長（代理伊集経済課長）は「日頃の地道

な活動が、ひいては大きな成果になる。発表会を通して益々研さんを深めてほしい」とあいさつ。その後、発表及びアトラクションが行われた。

### ★余り物を有効に利用★ 湧川生改グループが料理講習会

湧川生改グループ（嘉陽節子会長、会員十四名）では、十一月二十九日午後二時から同字集落センターにおいて料理講習会を行った。これは米消費拡大運動の一環として実施したもので、会員の他、川竿グループ、婦人会員など四十四人が参加した。献立は、ライスコロッケ、カツプケキ、ジュシー、ピビンバ、サラダ、それに自家製の味噌を使用した味噌汁など。余り物を効果的に活用する料理として好評を博した。マスターした後、自分たちの料理に舌つづみをうち交流を図った。

湧川では、これまで一時中断していた生改グループを、集落センターの建設に伴い再結成。結成一年あまりだが、今では毎週編み物教室、着付教室を開催



▲料理を前にごきげんの会員たち

当日はあいにくの冷たいくもり空となったが、関係者や遺族会員、各団体など約二百人が列席した。黙とうの後、松田村長が祭文を朗読し、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えた。次いで上間源松村遺族会長、玉城村議長、吉田県議、津嘉山朝信県遺族連合会長（代理）がそれぞれあいさつをのべた。

### 恒久平和を めざして 平和祈願祭挙行

戦没者の霊を慰めるとともに恒久平和の認識をあらたにしよ——と、村主催による「昭和五十七年度平和祈願祭」が十二月七日午後二時から村慰霊塔前で行われた。



人口の高齢化問題は、今や世界共通の社会問題となっている。とくにわが国は、他のどの国も経験したことがない規模とスピードで高齢化社会が迫ってきていると言われている。私たちは、これにどう対応したらいいのか？「健康」「年金などの生活資金」「雇用」など、いろいろな問題があげられる中で、国民年金について共に考えてみたい。

## 国民年金について

字湧川三六九  
嘉陽ルリ子  
(二十九歳・主婦)

限りである。ところが、沖縄県は未加入者が多いということも事実である。国民年金制度のスタート（本士三十六年、沖繩四十五年）のの違いで、制度の理解が徹底していないのも未加入者の多い要因の一つであろう。

未加入者を○に近づけるのは大変な苦勞のいる事だと思つた。また国民年金についての大会（説明会や話し合い）が持たれても、はたして未加入者がどれほどなのか……、国民年金については、非常にむづかしい問題だと思つた。

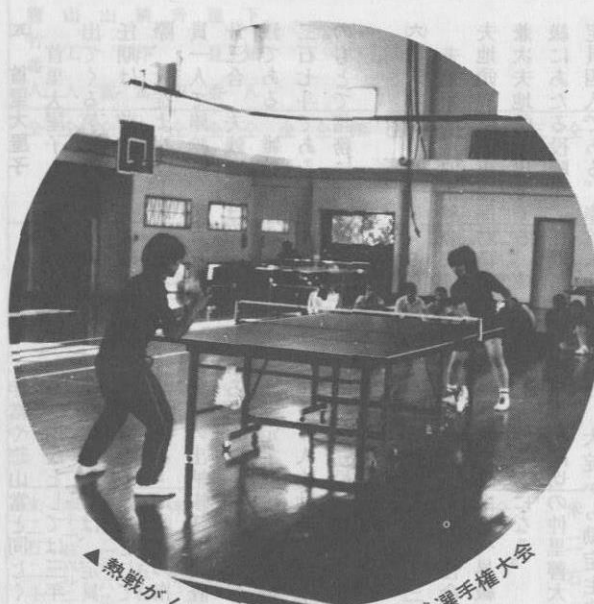
だから、村当局へ未加入者の徹底指導と加入者の中で支払いが困難な方々への指導をお願いしたい。支払い方法については、今の二カ月に一度を毎月払いにしてもらえたらと思うのは私一人だろうが。

最後に、私たち村民一人一人が、今年の重点標語に掲げられている「コツコツかけて受ける

### 団体は 今帰仁卓友会が優勝 第4回卓球選手権大会

村体協主催による「第四回村卓球選手権大会」が、十一月二十八日午前九時から今帰仁小学校で行われた。大会には団体の部に九チーム、個人の部に三九名、中学校の部に十六人が出場し、各部門で熱戦が展開された。

その結果、団体の部では今帰仁卓友会が圧倒的な強さで優勝。準優勝は村役場Aチームが入った。なお、個人の部の成績は次のとおり。



▲熱戦がくり広げられた第4回卓球選手権大会

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。

村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場総務課秘書広報係までお寄せ下さい。

なお、ご意見は四百字詰原稿用紙二枚程度で、住所、氏名、職業を添えて下さい。＊あて先  
今帰仁村字仲宗根二一九  
村役場総務課秘書広報係  
(TEL二二〇一)



# 若き後継者たち

⑦

## 大菊が中心 湧川の沢岬安平さん

静かな中にも内に秘めた情熱を持つ男。今回はこんな沢岬安平さん(二五歳、湧川一〇四八)を紹介しましょう。

安平さんが両親の安達・ヨシ



子さんと菊づくりを始めたのが昨年というから日はまだ浅い。それでも昨年八百坪(無電照小菊、電照大菊)今年千五百坪と徐々に栽培を拡大しつつある。

太陽の花で書記を勤め、また農協青年部にも所属している。北山高校卒業後、琉大短期大学で経済学を三年専攻。アルバイトをしながら独自で大学を卒業した。卒業時は農業に従事するつもりはなかったという。しかし、両親をい

安平さんの帰郷でバイン・キビから菊づくりに転換した。菊づくりは労働時間が長く作業は細かいが、今までよりは楽になったという。

当初は自分たちでできる規模ということから、他の兄弟も力を合わせ、電照工事や運搬資金を工面してくれた。一年目は十一万本を出荷。順調なスタートをきった。「先輩や指導員のアドバイスが大きかった」と安平さん。今年度は後継者育成資金を活用し、選別やさし床など多目的に利用できる倉庫を建設した。今はいい苗を余剰をもって沢山つくるのがモットー。また負担を軽減するため、十二月、四月まで毎日少しづつでも継続的に出荷する体制をとっている。悩みとしては、ほ場が散在し、区画が不揃いだという点。電照にムダやむりがでるし、台風にも影響されやすい。だから今は、ほ場整備と夏場にも出荷できる体制を整えることが課題。補助事業によるハウスの導入も考えるが、当分はあせらず勉強しながら力をつけていきたい、と話してくれた。

安平さんの父・安達さん父子

## 第16回村青年駅伝大会

### 湧川が大会2連勝

村青年会(吉田清尊会長)主催の「第十六回村青年駅伝大会」が、十二月十二日午後一時より村内・本部町具志堅にかけての八区間三・九キロメートルのコースで競われた。大会には、O B一チームを含む計十二チームが参加した。

役場前スタートの後、一区では各チームとも強豪を配置。混戦のうちに天底の嶺井選手が先頭にたち、O B、今泊の順位で二区にタッチ。以後激しいトップ争いを演じ、四区で初めて湧川がトップにたった。四区から



順位	チーム名	記録
1	湧天謝O	1'59'02"
2	川底越B	1'59'44"
3	泊諸仲根具A	2'01'21"
4	天底越B	2'02'01"
5	天底越B	2'03'44"
6	天底越B	2'09'16"
7	天底越B	2'11'22"
8	天底越B	2'18'06"
9	天底越B	2'18'08"
10	天底越B	2'18'17"
11	天底越B	2'18'39"
12	天底越B	2'26'41"

区間賞	氏名	記録	字名
1	底川川	16分39秒	底川川
2	天底越	16分02秒	天底越
3	天底越	14分40秒	天底越
4	天底越	16分21秒	天底越
5	天底越	14分28秒	天底越
6	天底越	11分25秒	天底越
7	天底越	10分59秒	天底越
8	天底越	14分06秒	天底越

## 老人保健法が施行 今年2月1日より

昭和五十八年二月一日から老人保健法が施行されます。これにより七十歳寝たきりの人は六五歳)以上のすべての方は、新しい制度で医者にかかることになり、老人保健による医療は、七十歳の誕生日の属する月の翌月から開始されます。ただし誕生日が月の初日である時はその月から開始されます。

二月一日から老人保健法が施行されます。これにより七十歳寝たきりの人は六五歳)以上のすべての方は、新しい制度で医者にかかることになり、老人保健による医療は、七十歳の誕生日の属する月の翌月から開始されます。ただし誕生日が月の初日である時はその月から開始されます。

いままでは老人医療費支払制度により老人の医療費は無料でしたが、これからは医療費の一部を自己負担することになります。

## 小規模企業対策資金融資制度の第二次募集について

県では、今年度の小規模企業対策資金融資制度の第一次融資申込受け付けを五月十日から十月三十日まで実施してきましたが、次の要領で第二次融資期間を設定して融資を実施します。

- ① 受付期間―五十七年十一月一日から五十八年二月十日まで。
- ② 融資額―五十七年度融資目標額一七億
- ③ 第一次申込受付調査中一億一千七百万円(四四件)
- ④ 第二次融資可能額二億二千三百七十七万円

融資条件は下表のとおりです。希望者は経済課水産商工係へお申し込みください。

健康手帳の交付は、一月二十日頃に各字公民館で交付を予定しています。

## はたちの献血

成人になったこの機会に「献血を通して助け合う」社会の連帯の輪の中に、あなたも参加してみませんか。



**第5回新春マラソン大会**

- 1月2日(日) 午後2時
- 役場前スタート
- 主催: 村体育協会
- 後援: 役場・教育委員会

**でそめ式**

- 1月6日(木) 午前7時
- 村営グラウンド
- 分遣所職員、非常勤消防団員による訓練、5色操法などが行われます。

**成人式**

- 1月15日(土) 午後2時
- 村役場ホール
- 主催: 今帰仁村 村青少協
- 対象: 昭和37年1月16日~38年1月15日までに生まれた人

融資対象	用途	限度額	期間	償還方法	利率	保証人・担保	保証料率	申し込み先
常雇従業員数が20人以下(商業、サービス業は5人以下)の小規模企業者で、県内で1年以上事業を営み県市町村税を完納しているもの	運転資金 又は 設備資金	300万円以内	3年以内 (うち据置6ヶ月以内)	割賦返済	年6.9%	原則として無担保。連帯保証人1名以上。但し、一定の要件を満たしている場合は連帯保証人も必要としない。	年0.95%	申込先 各市町村商工担当課 (役場・経済課) 取扱金融機関 琉銀、沖銀、沖縄相銀、沖縄信金、コザ信金の各本店

請求は済みましたか?

旧軍人、軍属、準軍属(戦闘参加者、徴用工等)およびその遺族の皆さん、もう請求は済まされましたか。

生存者の場合

普通恩給、一時恩給、一時金、傷病恩給、障害年金、障害一時金、戦傷病者手帳の交付、補装具の交付修理、国鉄無賃乗車券発行、航空割引証の交付、戦傷病者の妻に対する特別給付金など各種年金や一時金など。

遺族の場合

公務扶助料、遺族年金、遺族給付金、弔慰金、特別弔慰金、妻に対する特別給付金、父母等に対する特別給付金および普通扶助料、一時扶助料、遺族一時金など各種年金や一時金など。

まだ請求が済んでおられない方で、自分にも請求権があると思われる方は、役場、または戦没者遺族相談員(伊是名ツル、天底一六八、電三七一一)戦傷病者相談員(仲原武三、仲宗根二〇七、電三四五三)、県援護課にご相談ください。

なお、県援護課では一月二十五日午前十時から午後四時まで本部町営ホールで「巡回相談所」を開きますのでご利用下さい。



なきじん版

1月1日～2月1日

# 村民カレンダー

1/1 土	○元日	17 月	
2 日	○第5回新春マラソン大会 (14:00、役場前スタート)	18 火	
3 月		19 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
4 火	○御用始め	20 木	○区長会 (14:00、役場ホール) ○健康体操 (20:00、謝名公民館)
5 水	○区長会 (14:00、役場ホール) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)	21 金	
6 木	○ぞめ式 (7:00、村営グラウンド) ○健康体操 (20:00、謝名公民館)	22 土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)
7 金		23 日	
8 土	○新春老人ゲートボール大会 (9:00、村営グラウンド、9日まで)	24 月	○援護巡回相談 (10:00~16:00、 本部町営ホール)
9 日		25 火	
10 月	○3歳児健診 (13:00、役場ホール)	26 水	○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場) ○ツ反 (13:30~15:00、役場ホール) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
11 火		27 木	○健康体操 (20:00、謝名公民館)
12 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)	28 金	○BCG予防接種(13:30~15:00、役場ホール)
13 木	○健康体操 (20:00、謝名公民館)	29 土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)
14 金		30 日	
15 土	○成人の日 ○成人式 (14:00、役場ホール) ○農協青年部駅伝大会 (10:00、農協前スタート)	31 月	
16 日	○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場)	2/1 火	

■ 広報一月号をお届けします。巻頭の航空写真は、新星図書出版社より提供いただきました。同社の御厚意に感謝いたします。

■ 北山高の二連覇に続き、今帰仁中が全県制覇と、村内ではこのところ駅伝ブーム。十二月二十六日に北山高が全国大会、今中が九州大会へ県代表として出場します。広報が届く頃には結果がわかると思いますが、両校のより以上の活躍を期待したい。

■ 公共出版物の価値が認識され、村内でも議会、農協、商工会、社協だよりが発行。また学校・PTAでも立派な新聞が発行されています。これらは大切に綴っておくと何かと便利です。勿論広報なきじんもお忘れなく。

■ 先月号表紙の村人口動態で、男子と女子が入れ違っていました。お詫びして訂正いたします。

■ 新年は身の締る思いがします。お互いに悔いのない年、ひいては悔いのない人生を送るよう努力したいもの。頑張りましょう。

## 編集後記

